

全国きき酒選手権大会

群馬県代表選手が二年連続で団体優勝！

依田さん石関さん優勝

団体 県勢初の快挙

全国きき酒選手権

日本酒の味や香りを判別する第31回全国きき酒選手権大会で、本県から出場した会社員の依田悟史さん(38)と高崎市日高町と飲食店経営の石関克則さん(48)と同事旭町が団体の部で優勝した。県勢の優勝は個人・団体を通じて初めて。



優勝した依田さん(左)と石関さん

大会は21日に東京都 県の代表72人が出場。内で開かれ、36都道府 東京都内で開かれ、7

種類の日本酒を判別する「きき酒」と日本酒に関する基礎知識を確認する「筆記試験」で順位を競った。個人記録で、依田さんが9位、石関さんが5位と好位置につけ、2人の成績を合わせた総合記録で団体の部の優勝を飾った。依田さんは「日ごろから味の違いを意識して日本酒を飲んできた

かがあった」と快挙に安堵した様子。石関さんは「大会には冷静に臨めた。次は個人の部で優勝を狙いたい」と話している。

同大会は日本酒の普及振興を目的に、日本酒造組合中央会が1981年に始めた。本県では7月に予選が行われ、依田さん(1位)と石関さん(4位)の2人が代表に選ばれた。

平成23年11月2日(水)
上毛新聞

平成24年11月23日(金)
上毛新聞

依田さん(高崎)那須さん(同) V

全国きき酒選手権団体

日本酒の味や香りを判別する全国きき酒選手権大会で、本県代表として出場した会社員の依田悟史さん(39)と高崎市日高町と団体職員的那須昂さん(37)と同事箕郷町東明屋が団体の部で優勝した。団体の部は2連覇となる。

大会に34都道府県の68人が出場。7種類の日本酒を判別する「きき酒」と日本酒に関する知識を確認する「筆記試験」で順位を競った。



優勝した依田さん(左)と那須さん

み、那須さんも含めた総合記録で団体優勝となった。依田さんは昨年が続いての栄誉となった。大会は日本酒の普及振興を目的に、日本酒造組合中央会が1981年に始めた。ことしで32回目を迎える。

個人記録で依田さんが6位と上位に食い込